

KOKUYO

平成27年12月期
第3四半期
〈1～9月〉

連結決算補足資料

平成27年10月23日

コクヨ株式会社

(コード番号 7984)

経営管理本部 財務経理部

お問い合わせ先 : 統括部長 永井 琢也

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 27年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 損益計算書の状況

◆1-1 連結情報

売上高は、国内でのオフィス家具販売が引き続き好調に推移したことや海外事業の伸長により、前年同期比3.9%増の2,290億円となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前年同期比44.3%増の98億円となりました。また、経常利益は前年同期比34.9%増の108億円、四半期純利益は前年同期比54.1%増の65億円となりました。

(単位: 百万円)

	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	220,546	229,084	+8,538	+3.9%
売上総利益 (率)	73,883 (33.5%)	77,451 (33.8%)	+3,568 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	67,051 (30.4%)	67,591 (29.5%)	+540 (△0.9p)	+0.8%
営業利益 (率)	6,832 (3.1%)	9,860 (4.3%)	+3,028 (+1.2p)	+44.3%
経常利益 (率)	8,051 (3.7%)	10,858 (4.7%)	+2,807 (+1.1p)	+34.9%
四半期純利益 (率)	4,230 (1.9%)	6,516 (2.8%)	+2,286 (+0.9p)	+54.1%

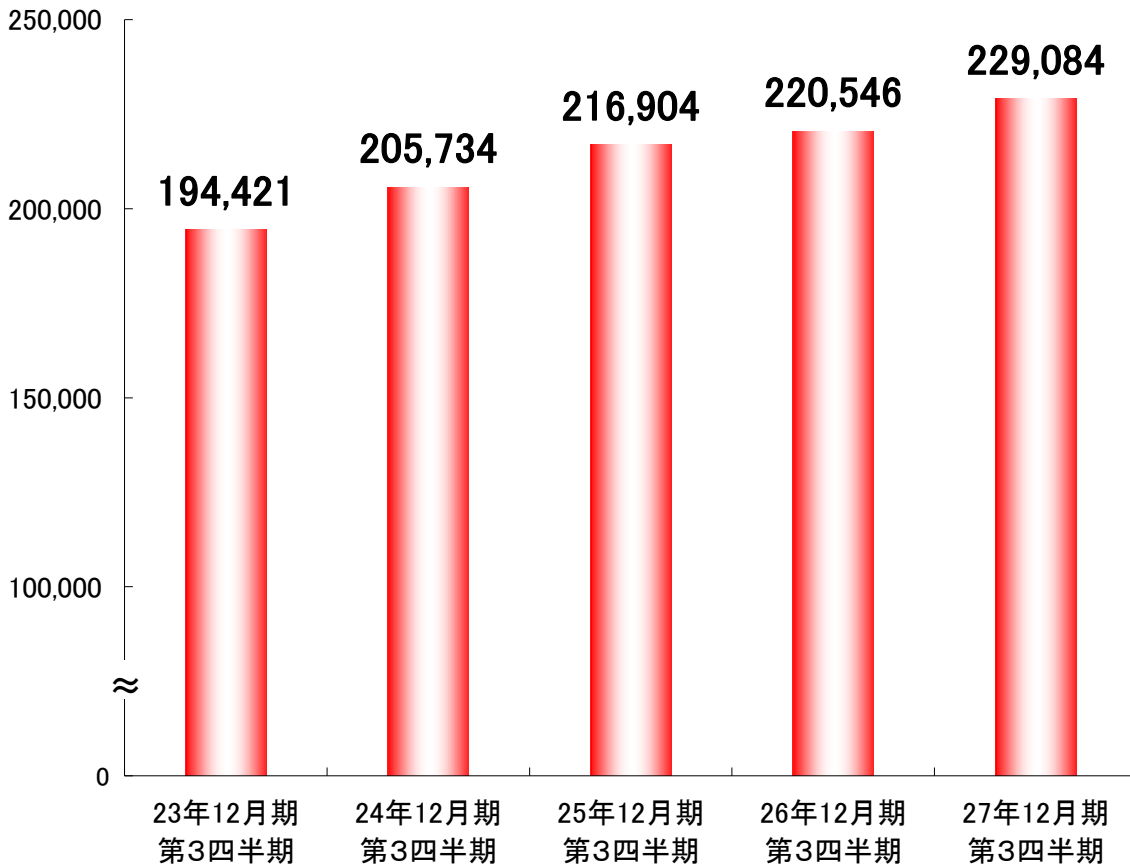
(注) 連結子会社22社・持分法適用関連会社1社

1. 損益計算書の状況

◆1-2 売上高

売上高は、国内でのオフィス家具販売が引き続き好調に推移したことや海外事業の伸長により、前年同期比3.9%増の2,290億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	194,421	205,734	216,904	220,546	229,084	+8,538	+3.9%
売上総利益 (率)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	77,451 (33.8%)	+3,568 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	67,591 (29.5%)	+540 (△0.9p)	+0.8%
営業利益 (率)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	9,860 (4.3%)	+3,028 (+1.2p)	+44.3%
経常利益 (率)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	10,858 (4.7%)	+2,807 (+1.1p)	+34.9%
四半期純利益 (率)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	6,516 (2.8%)	+2,286 (+0.9p)	+54.1%

1. 損益計算書の状況

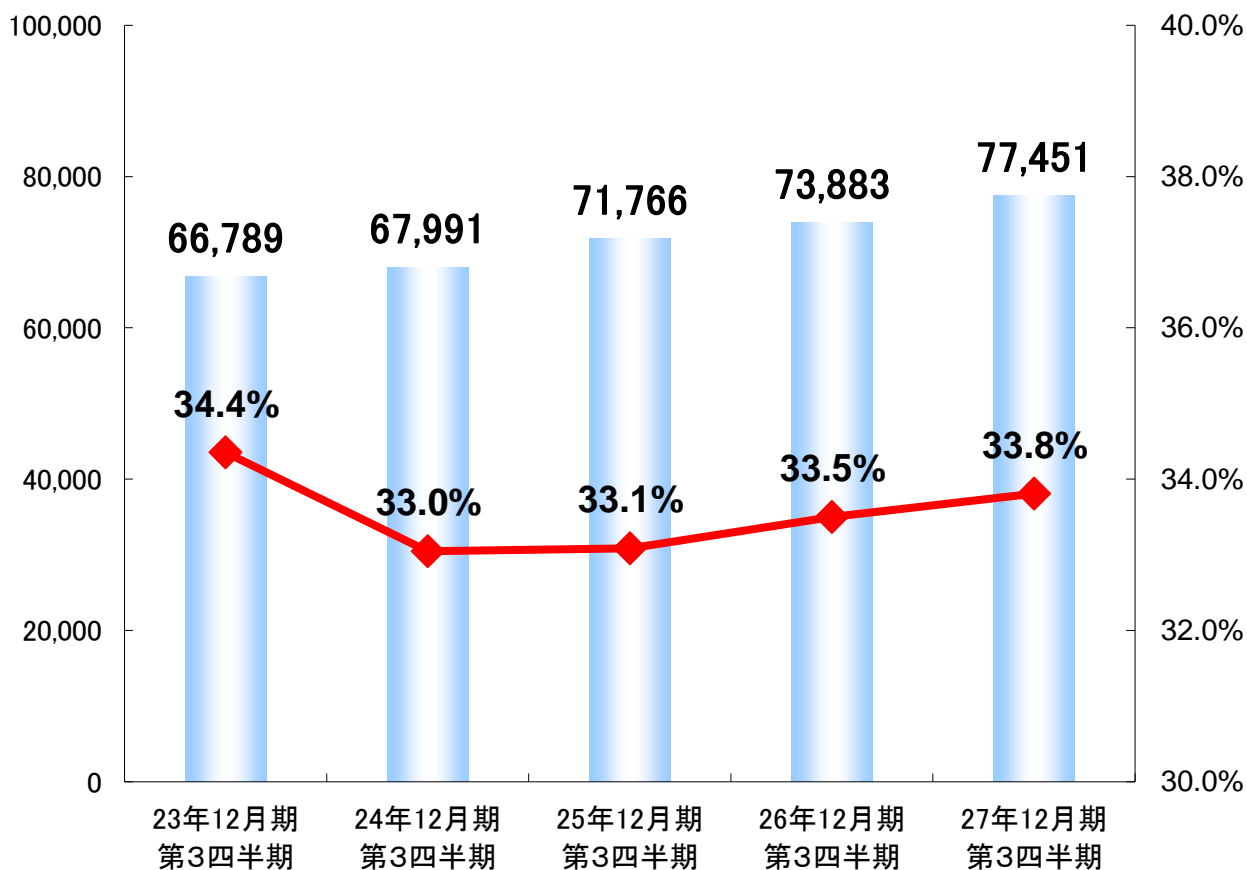
◆1-3 売上総利益

売上総利益は、増収により前年同期比4.8%増の774億円となりました。

売上総利益率は、円安の進行に伴う原材料価格及び仕入商品価格の高騰による原価の上昇がありましたが、価格改定の浸透及びコストダウンの推進に努めた結果、33.8%となりました。

(単位:百万円)

■ 売上総利益 ◆ 売上総利益率



(単位:百万円)

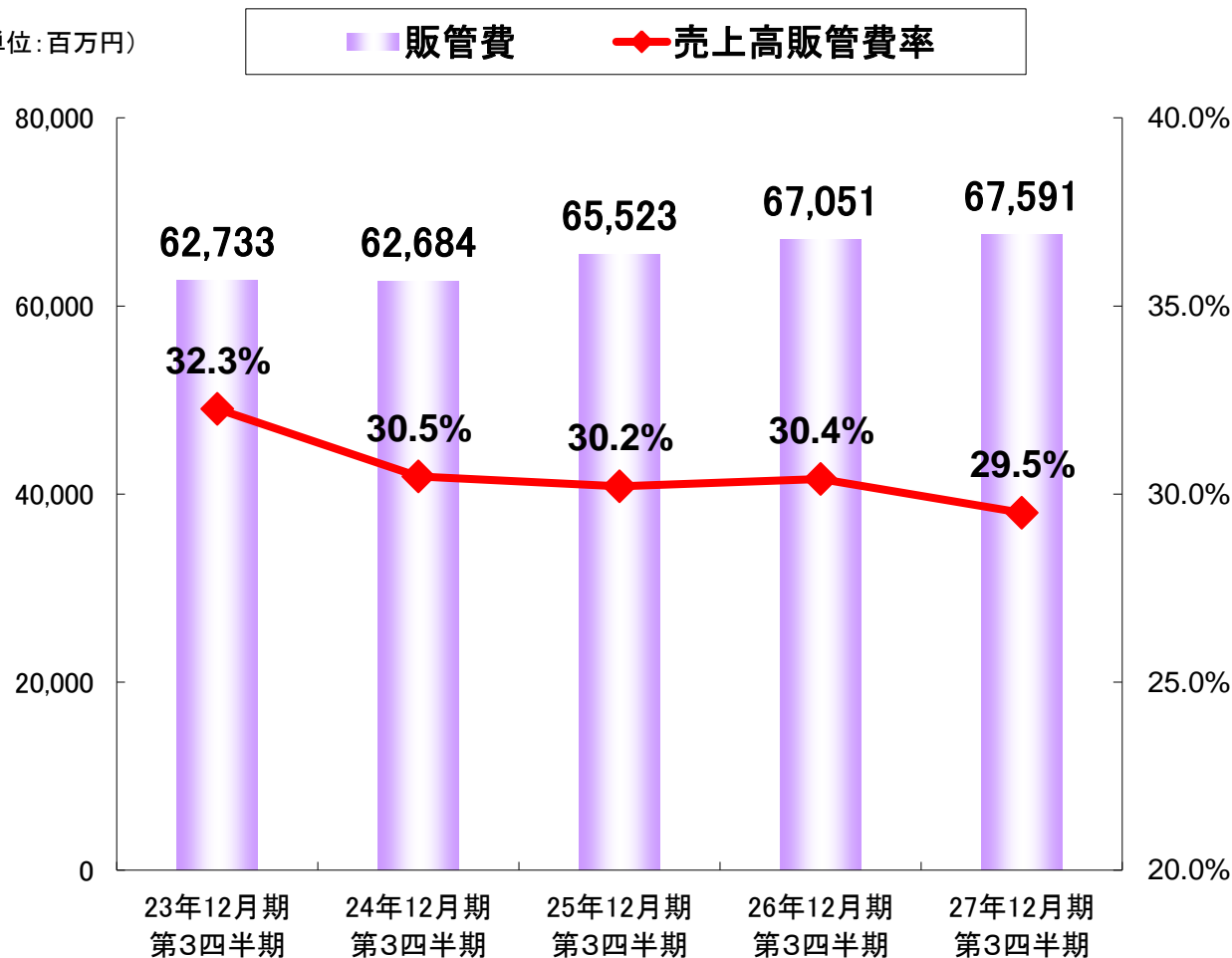
	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	194,421	205,734	216,904	220,546	229,084	+8,538	+3.9%
売上総利益 (率)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	77,451 (33.8%)	+3,568 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	67,591 (29.5%)	+540 (△0.9p)	+0.8%
営業利益 (率)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	9,860 (4.3%)	+3,028 (+1.2p)	+44.3%
経常利益 (率)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	10,858 (4.7%)	+2,807 (+1.1p)	+34.9%
四半期純利益 (率)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	6,516 (2.8%)	+2,286 (+0.9p)	+54.1%

1. 損益計算書の状況

◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、物流費は増加しましたが、固定費の増加抑制に努めたことから、前年同期比0.8%増の675億円となり、売上高販管費率は29.5%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	194,421	205,734	216,904	220,546	229,084	+8,538	+3.9%
売上総利益 (率)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	77,451 (33.8%)	+3,568 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	67,591 (29.5%)	+540 (△0.9p)	+0.8%
営業利益 (率)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	9,860 (4.3%)	+3,028 (+1.2p)	+44.3%
経常利益 (率)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	10,858 (4.7%)	+2,807 (+1.1p)	+34.9%
四半期純利益 (率)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	6,516 (2.8%)	+2,286 (+0.9p)	+54.1%

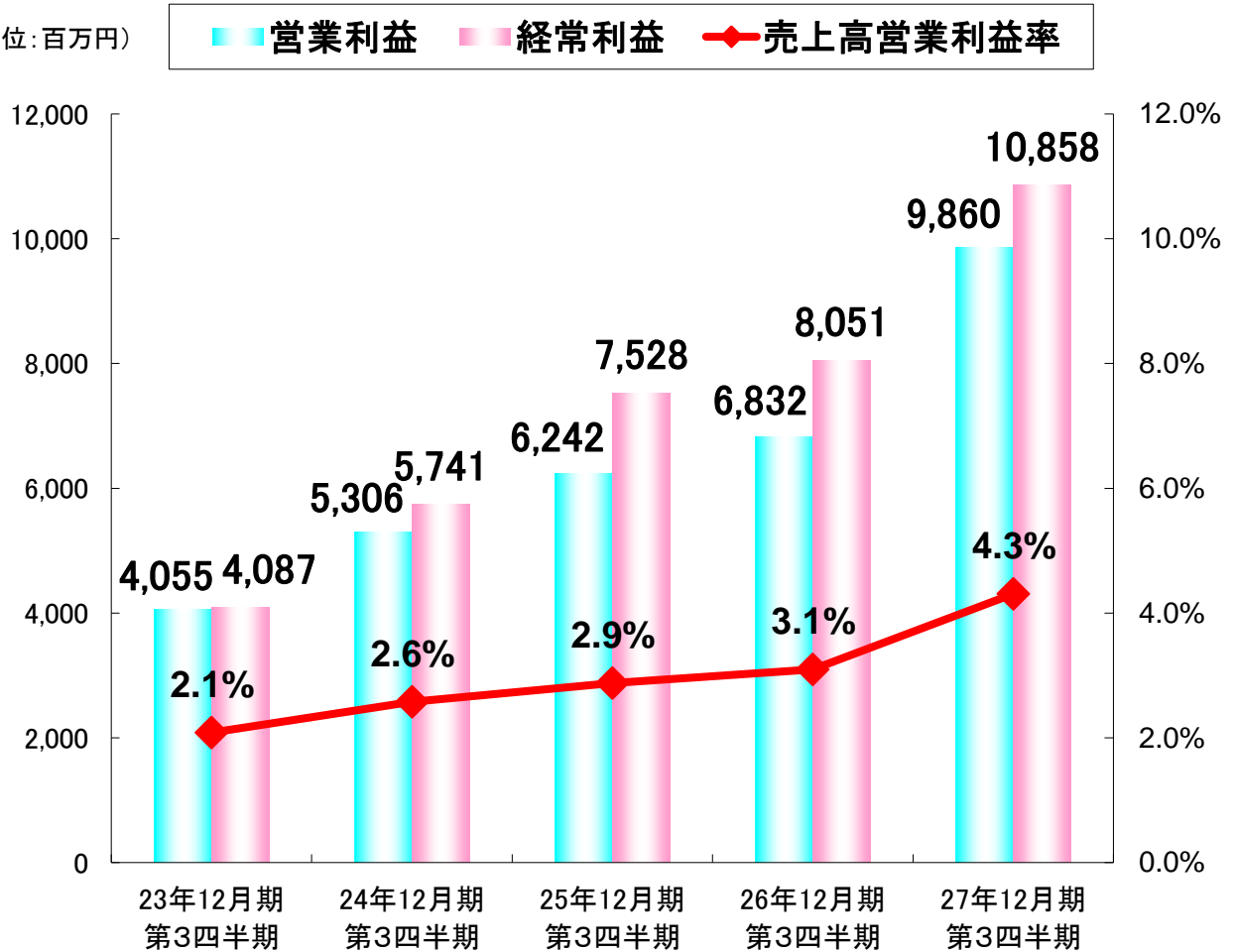
1. 損益計算書の状況

◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加等により、前年同期比44.3%増の98億円となりました。

経常利益は、前年同期比34.9%増の108億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	194,421	205,734	216,904	220,546	229,084	+8,538	+3.9%
売上総利益 (率)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	77,451 (33.8%)	+3,568 (+0.3p)	+4.8%
販売費及び一般管理費 (率)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	67,591 (29.5%)	+540 (△0.9p)	+0.8%
営業利益 (率)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	9,860 (4.3%)	+3,028 (+1.2p)	+44.3%
経常利益 (率)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	10,858 (4.7%)	+2,807 (+1.1p)	+34.9%
四半期純利益 (率)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	6,516 (2.8%)	+2,286 (+0.9p)	+54.1%

1. 損益計算書の状況

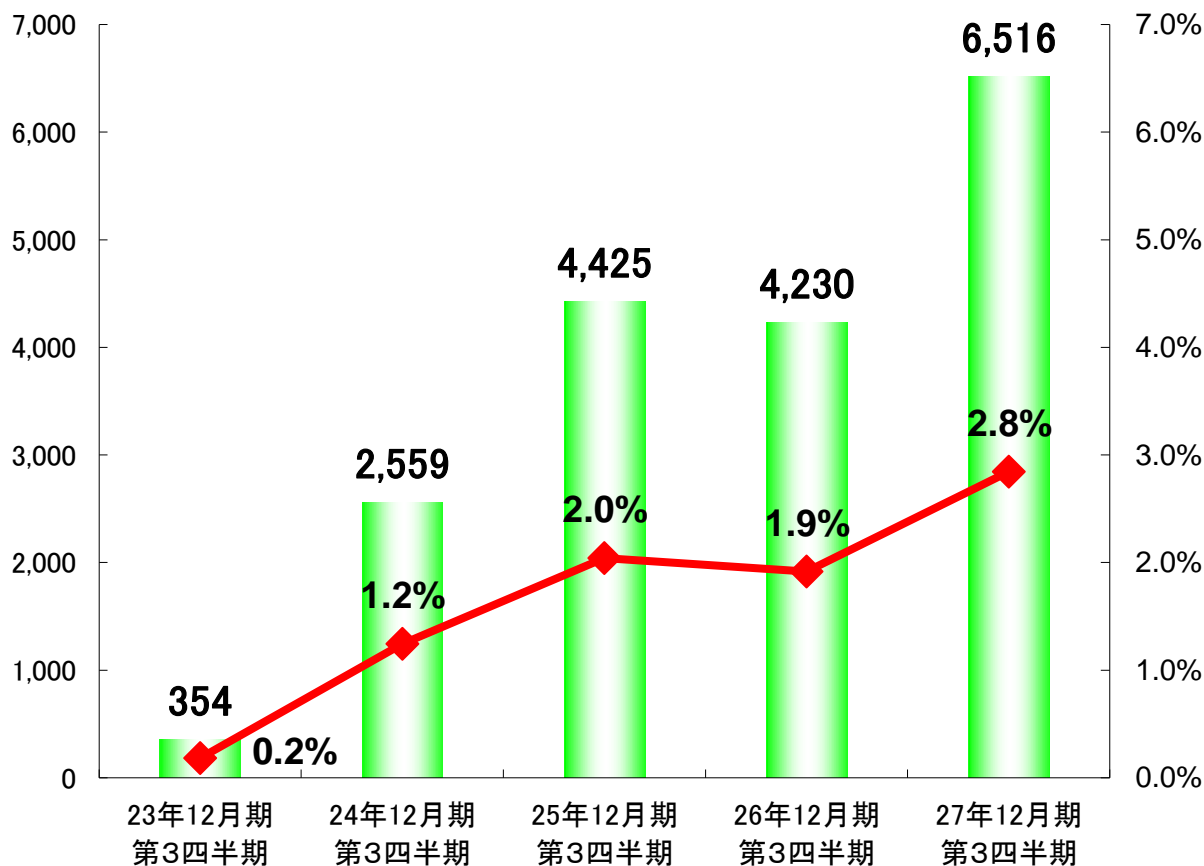
◆1-6 四半期純利益

四半期純利益は、前年同期比54.1%増の65億円となりました。

- 特別利益・・・関係会社株式売却益 12億円、投資有価証券売却益 2億円
- 特別損失・・・製品自主回収関連損失引当金繰入額 12億円、減損損失 0.6億円

(単位:百万円)

■ 四半期純利益 ◆ 売上高四半期純利益率



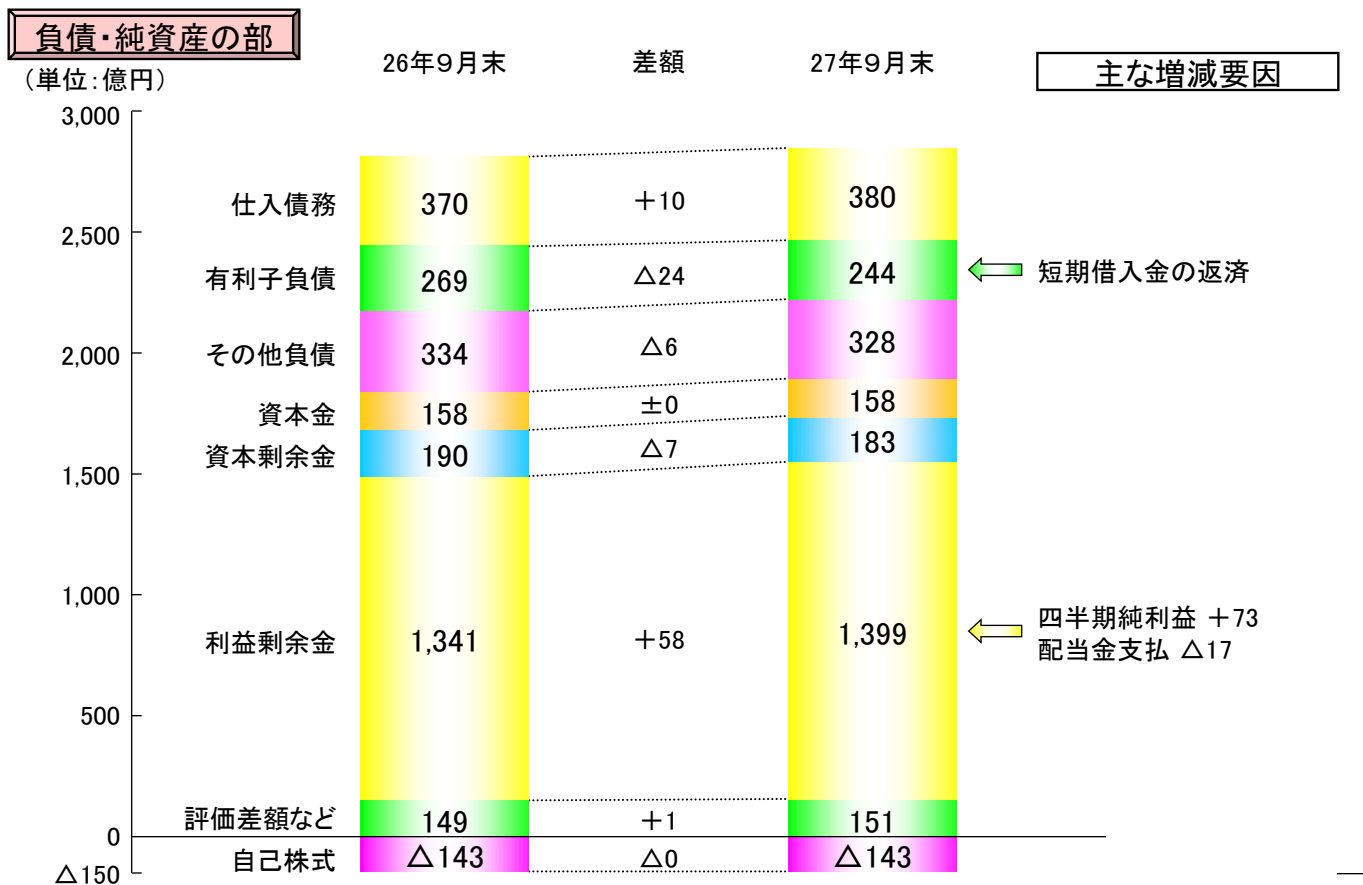
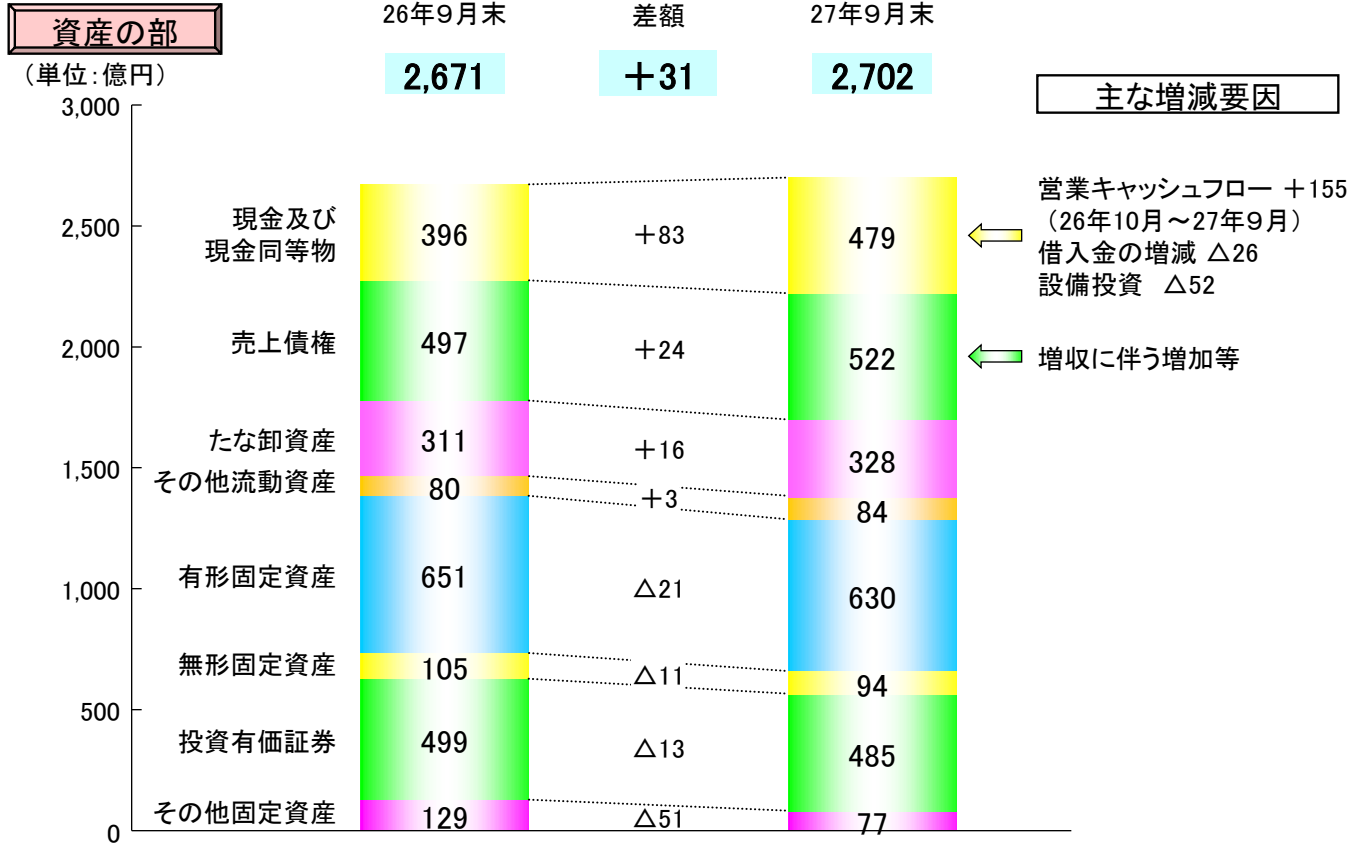
(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	10,858 (4.7%)	+2,807 (+1.1p)	+34.9%
特別損益	△1,818	+114	+67	△447	+140	+587	—
特別利益	+976	+2,021	+1,245	+178	+1,450	+1,272	+714.6%
特別損失	△2,794	△1,907	△1,178	△625	△1,309	△684	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	2,270 (1.2%)	5,854 (2.8%)	7,595 (3.5%)	7,603 (3.4%)	10,999 (4.8%)	+3,396 (+1.4p)	+44.7%
法人税等	1,916	3,295	3,170	3,373	4,482	+1,109	+32.9%
四半期純利益 (率)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	6,516 (2.8%)	+2,286 (+0.9p)	+54.1%

2. 貸借対照表の状況

総資産は、前年同期末より31億円増加し、2,702億円となりました。

※比較のため前期の数値は26年12月期第3四半期(26年9月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



3. キャッシュフロー・設備投資の状況

<キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは108億円、投資キャッシュフローは△14億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は93億円となりました。
また、財務キャッシュフローは△50億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から40億円増加し、479億円となりました。

(※)フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

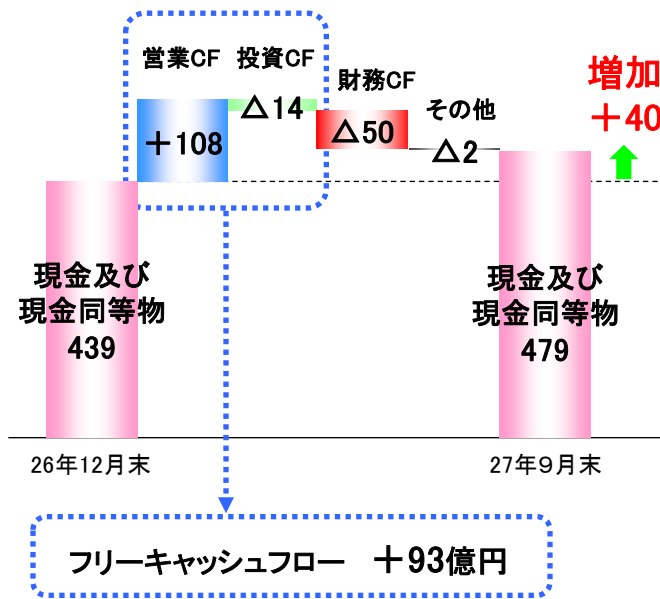
<設備投資>

設備投資は、36億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

□ 現金及び現金同等物の増減内訳 27年12月期 第3四半期

(単位:億円)



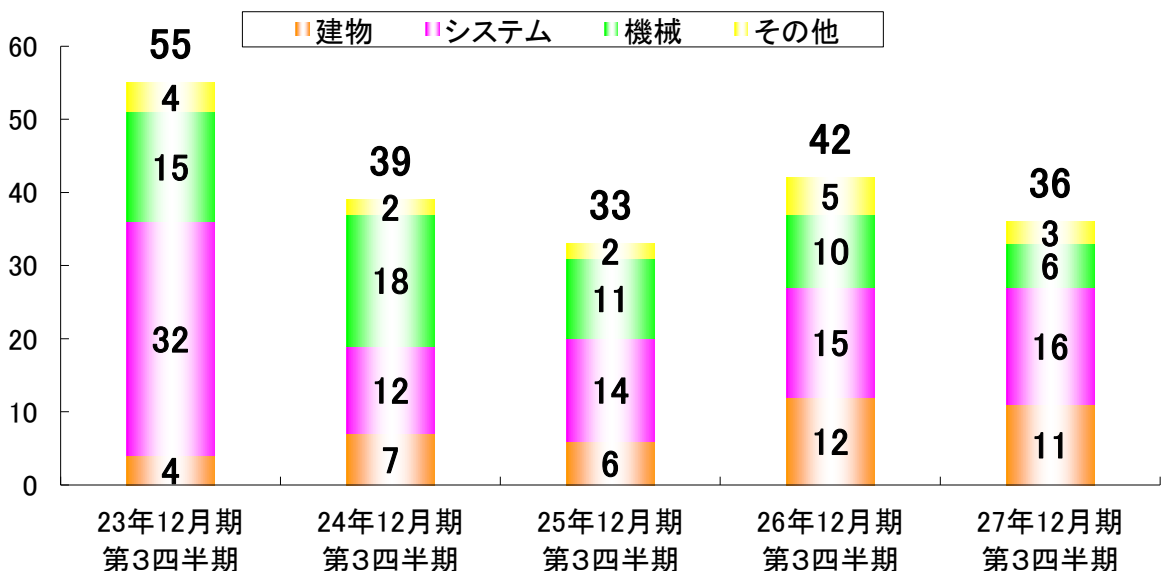
□ キャッシュ・フロー計算書 27年12月期 第3四半期

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	+108
税金等調整前四半期純利益	+109
減価償却費	+53
賞与引当金の増減	+17
たな卸資産の増減	△18
債権債務の増減	△39
法人税等の支払	△11
その他	△2
◆投資キャッシュフロー	△14
関係会社株式売却収入	+16
設備投資	△36
その他	+5
◆財務キャッシュフロー	△50
配当金の支払	△17
借入金の増減	△14
リース債務の返済	△8
その他	△10

□ 設備投資の推移

(単位:億円)



4. 事業セグメントの損益状況

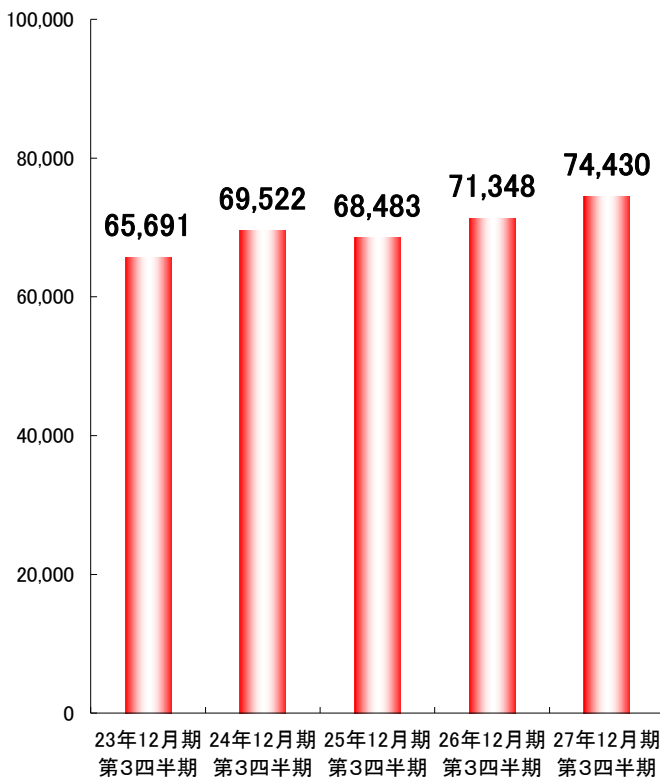
◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、海外事業の伸長等により、前年同期比4.3%増の744億円となりました。

営業利益は、国内事業では、円安の進行に伴う原材料価格及び仕入商品価格の高騰による原価の上昇がありましたが、価格改定の浸透に努め、また、海外事業の改善により、前年同期比11.3%増の42億円となりました。

売上高

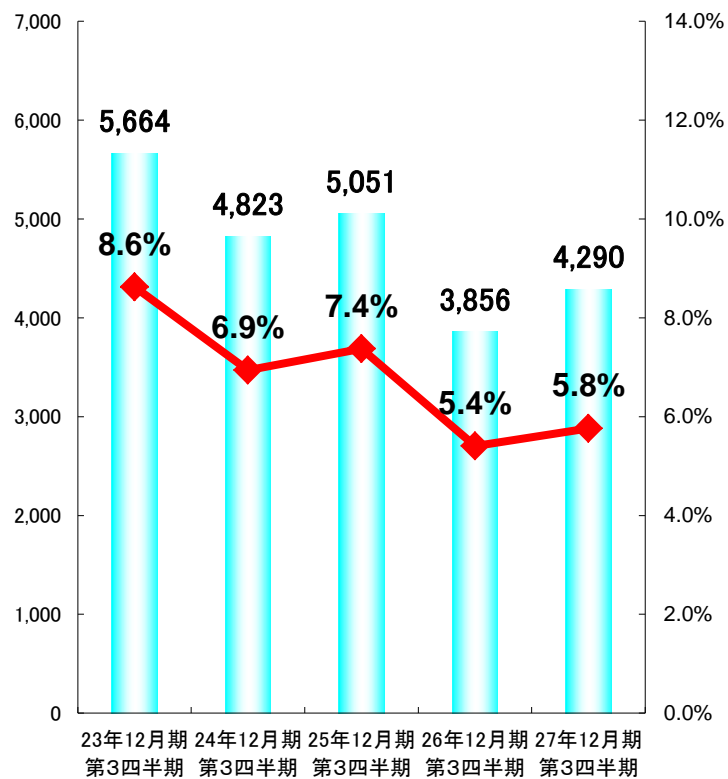
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	65,691	69,522	68,483	71,348	74,430	+3,082	+4.3%
営業利益 (率)	5,664 (8.6%)	4,823 (6.9%)	5,051 (7.4%)	3,856 (5.4%)	4,290 (5.8%)	+434 (+0.4p)	+11.3%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

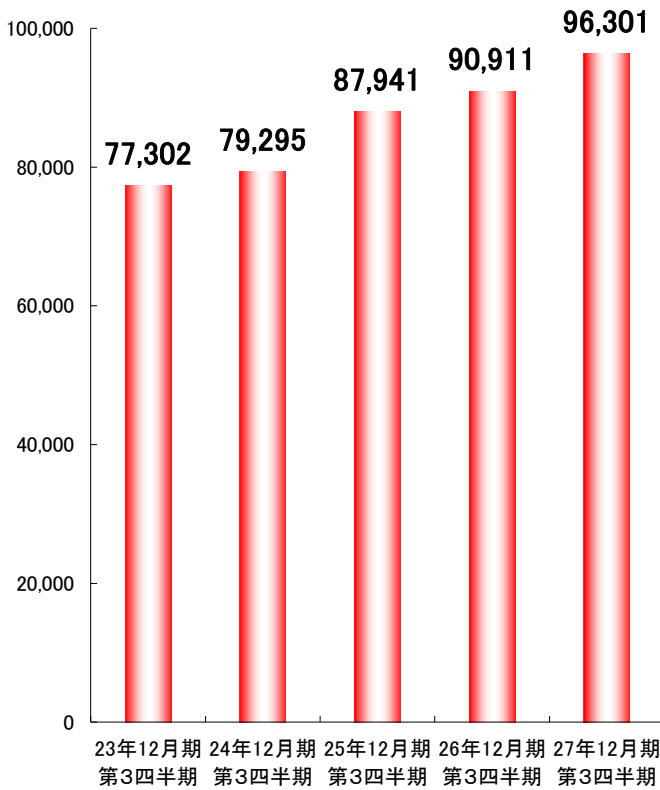
4. 事業セグメントの損益状況

◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内事業の牽引により、前年同期比5.9%増の963億円となりました。
営業利益は、増収による売上総利益の増加及び価格改定や工場収支の改善等に伴う売上総利益率の向上により、前年同期比59.1%増の57億円となりました。

売上高

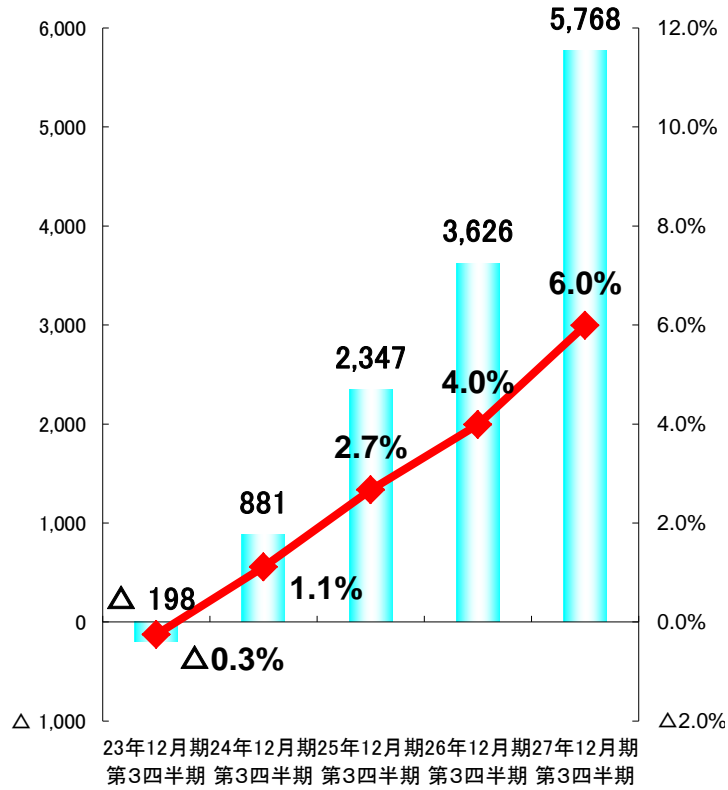
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	77,302	79,295	87,941	90,911	96,301	+5,390	+5.9%
営業利益 (率)	△198 (△0.3%)	881 (1.1%)	2,347 (2.7%)	3,626 (4.0%)	5,768 (6.0%)	+2,142 (+2.0p)	+59.1%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

4. 事業セグメントの損益状況

◆4-3 通販・小売関連事業

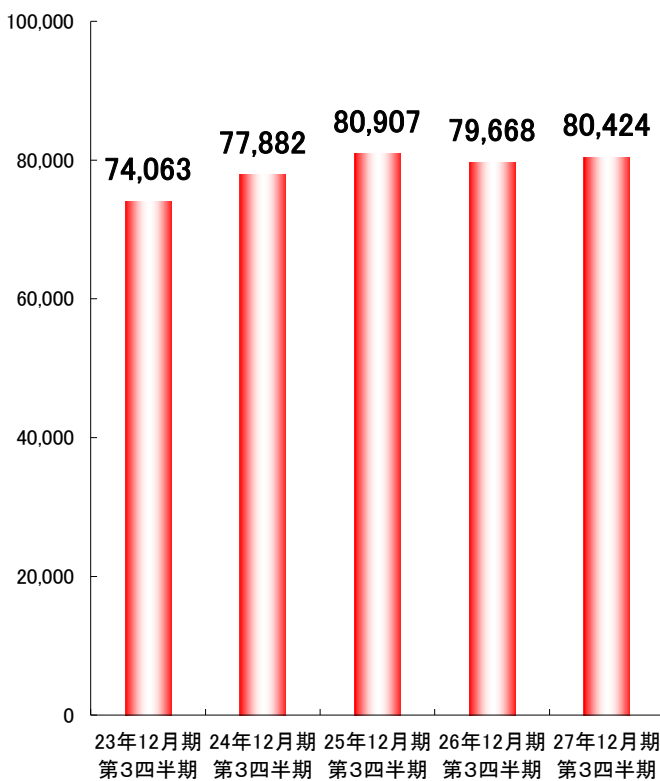
売上高は、LmD株式会社の連結除外(※)による減収があったものの、カウネットの増収により、前年同期比0.9%増の804億円となりました。

営業利益は、通販事業における物流費の上昇やアクタスの新規出店に伴う先行費用の増加等がありましたが、カウネットの増収に伴う売上総利益の増加により、前年同期比9.6%増の15億円となりました。

(※)平成26年9月1日に当社の連結子会社であった「ザ・コンランショップ」の運営会社であるLmD株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。

売上高

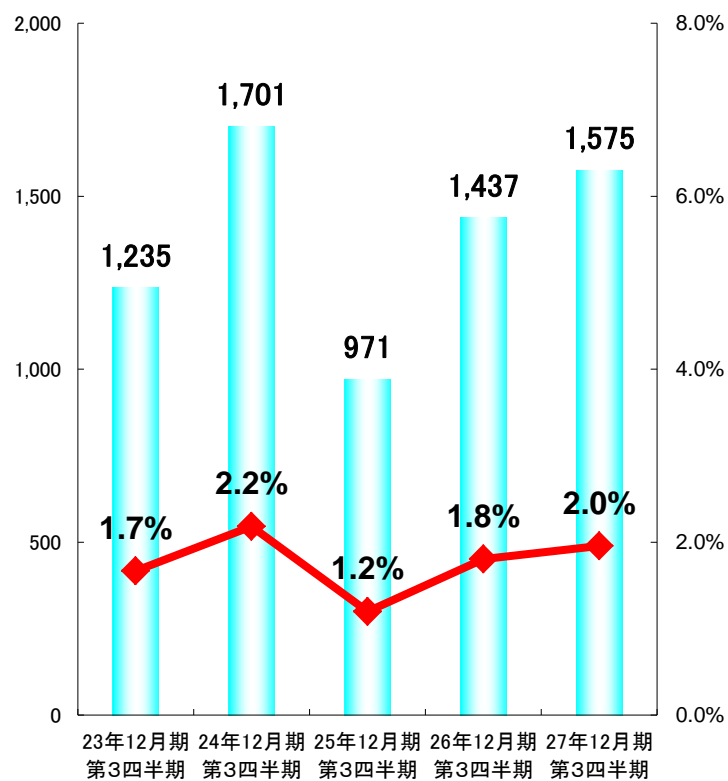
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	27年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	74,063	77,882	80,907	79,668	80,424	+756	+0.9%
営業利益 (率)	1,235 (1.7%)	1,701 (2.2%)	971 (1.2%)	1,437 (1.8%)	1,575 (2.0%)	+138 (+0.2p)	+9.6%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

5. 27年12月期の見通し

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上、利益ともに順調に推移いたしました。
しかしながら、円安の進行による原材料価格及び仕入商品価格の高騰、物流費の上昇等、当社を取り巻く環境は、予断を許さない状況にあるため、平成27年12月期の業績予想は据え置いております。

通 期

(単位:百万円)

	26年12月期 通期 実績 (12ヶ月)	27年12月期 通期 予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売 上 高	293,054	302,000	+8,946		+3.1%
ステーションリー	93,646	96,500	+2,854		+3.0%
ファニチャー	120,695	124,000	+3,305		+2.7%
通 販 ・ 小 売	107,138	108,300	+1,162		+1.1%
調 整 額	△ 28,426	△ 26,800	+1,626		-
営 業 利 益 (率)	7,598 (2.6%)	9,300 (3.1%)	+1,702	+0.5p	+22.4%
ステーションリー (率)	4,450 (4.8%)	4,100 (4.2%)	△350	△0.5p	△7.9%
ファニチャー (率)	4,155 (3.4%)	5,900 (4.8%)	+1,745	+1.3p	+42.0%
通 販 ・ 小 売 (率)	2,073 (1.9%)	2,000 (1.8%)	△73	△0.1p	△3.5%
調 整 額	△ 3,080	△ 2,700	+380		-
経 常 利 益 (率)	9,643 (3.3%)	10,800 (3.6%)	+1,157	+0.3p	+12.0%
当 期 純 利 益 (率)	5,065 (1.7%)	6,100 (2.0%)	+1,035	+0.3p	+20.4%

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 主なトピックス

～10周年記念デザイン～ 「テープのり<ドットライナーZoo>」を発売

当社は、テープのり<ドットライナー>の発売10周年を記念し、動物をモチーフとした「テープのり<ドットライナーZoo>」を数量限定で発売しました。

「ドットライナー」シリーズは、「のり」がドット(=点)状に粘着することでのりの切れが良く、手軽に美しくのり付けができることから大変好評をいただいております、平成7年の発売以来、シリーズ累計6,500万個(平成27年4月末現在)を突破しています。



「テープのり<ドットライナーZoo>」

～緑マーカーで塗って覚える・オレンジペンで書いて覚える～ 1本で2役の暗記用ペン「チェックル」を新発売

当社は、試験対策に最適な「塗って覚える緑マーカー」と「書いて覚えるオレンジペン」を1本にした「暗記用ペン<チェックル>」を発売しました。

試験対策などに緑色の暗記用ペンを普段からよく活用している中高生へのアンケート調査の結果、「裏うつりする」や「きれいに消えない」といった不満が存在することが分かりました。

「暗記用ペン<チェックル>」は、裏うつりがしにくく、覚えたら専用の消しペンでさっときれいに消せるので、教科書や参考書などに塗って覚えるのにおすすめです。また、暗記用赤シートで、書いた文字を隠せるオレンジペンは、ノートや穴埋め問題に書いて覚えるのに適しています。暗記に役立つ2つを1本にまとめた試験対策の決定版です。

暗記用ペン単品の他に、暗記用消しペン・暗記用赤シートをまとめたスターターセットも発売しています。



「暗記用ペン<チェックル>」



「暗記用消しペン<チェックル>」※オレンジは消えません。



6. 主なトピックス

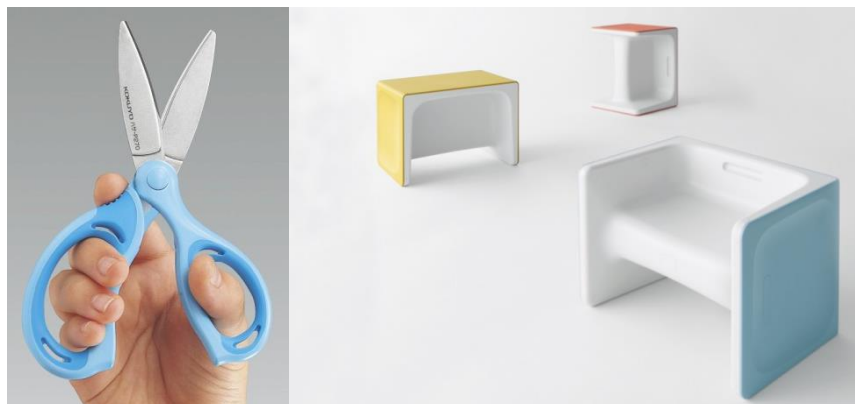
2商品がキッズデザイン賞を受賞

当社の2商品が、第9回キッズデザイン賞の各部門賞を受賞しました。

キッズデザイン賞とは、子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、そして、子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度です。

8部門のうち、「子ども視点の安全安心デザイン 子ども部門」で「学習はさみくエアロフィットサクサ・キッズ」が、また、「子どもの未来デザイン 学び・理解力部門」で教育施設用家具「Campus BLOCK(キャンパス ブロック)」が受賞しました。

当社はこれからも、「働く人・学ぶ人の知的活動の進化に資する価値の提供」というドメインと提供価値に沿った商品の開発を続けます。



(左)
学習はさみ
くエアロフィットサクサ・キッズ>
(右)
Campus BLOCK
(キャンパス ブロック)

～「カウネットカタログ2015年秋冬号」を発刊～**カウネット、“働く人に寄り添う”工夫をこらしたオリジナル商品を発売**

株式会社カウネットは、「カウネットカタログ2015年秋冬号(第30号)」において、独自の工夫を加えたオリジナル商品「カウコレ」プレミアム”シリーズなどの新商品約550品番を発売しました。

オリジナル商品には、お客様の顕在的な不満や潜在的な困りごとを解決するために、独自の工夫を加えた付加価値型の「カウコレ」プレミアム”と、低価格でありながら安心の品質を提供する「カウコレ」プライス”の2つのブランドがあり、文具・事務用品から日用品、作業用品まで幅広い分野で“働く人に寄り添う”商品を提供しています。

今回の新商品は、出席者名簿のチェック業務などに役立つ消し込み用のグレー色と目立たせるための蛍光色が1本で使える2色マーカーや、梱包や結束時に粘着テープや紐の代わりに使えるポリエチレン製ストレッチフィルムなど、ちょっとした困りごとや手間を軽減し、仕事をはかどらせる一工夫を加えたアイテムを揃えました。



カウネットカタログ2015年秋冬号